



令和7年11月28日
浦和明の星幼稚園
園長 栗田 亨

創立60周年記念式典・観劇会では大勢の皆さんにお集まりいただき、本園60歳の誕生日を盛大にお祝いしていただいたこと心より御礼申し上げます。式典に園児全員が参加するのは、初めてのことゆえ、どこに集合するか、雨が降ったらどう移動するかなど、最後の最後まで検討して当日を迎えるました。少し降られましたが、混乱なく開催できること、保護者始め参会者の皆さまのご協力、誠に有難うございました。子ども主体の会にしようと、司会もお祈りも子どもに委ね、立派に成し遂げたことたくさんのお褒めの言葉をいただきました。何より、子どもが日頃の力を十二分に発揮したこと、嬉しかったです。さらに、言葉に従い会場のすべての皆様が、祈り、唱え、歌声を合わせられたこと、これまでにない経験でした。各方面に渡ってご協力くださったこと重ねて御礼申し上げます。

11月のお誕生日会では、クリスマス会にどう取り組むか「60年の歩み」から考えました。皆さんも挑戦してみてください。

第1問。今年は、ひかり、年少、年中、年長の4学年で行いますが、60年前は何学年だったでしょう？

- ① 今と同じ4学年 ② 年少、年中、年長の3学年 ③ 年中、年長の2学年

満3歳ひかり組は今年できました。園則に初めて年少組の言葉が出てくるのは、今から52年前です。年中・年長は100名近く居たのに、年少組は40名定員でした。その頃はまだ、幼稚園は年中組からとう考えだったようです。ですから、正解は、③ 年中、年長の2学年だけでした。クリスマス会は、60年前は2学年で、52年前から3学年で、今年初めて4学年で行うことになります。

第2問。今はジュビリホールで行われていますが、60年前はどこで行われていたでしょう？

- ① 遊戯室 ② ジュビリホール ③ 保育室（お部屋）

今から50年前のクリスマス会の資料によると、遊戯室を使って2日間に分けて行っていました。しかも、クラス毎に劇や合奏などをしていました。今から20年ほど前、園舎を建て替えるため、今のようにジュビリホールを使って土曜日午前・午後で行うようにしたそうです。ですから① 遊戯室が正解です。しかも、実際に蠟燭に火を灯してキャンドルサービスを行っていたようです。

このように幼稚園のクリスマス会は、60年の間に誰が、どこで、どのように行うかなど様々なことが変わって来て、今があります。そんな中で、今も変わらないこと、これからも大切にしていきたいことがあります。何だと思いますか？そう。「クリスマスはイエス様のお誕生をお祝いする日」だということ。皆さんに「本当のクリスマス」を知りたいため、一人一人が主役となって心を込めてお祝いするということです。本番に向けて、60年変わらない「一人一人が主役となって心を込めてお祝いする」クリスマス会にしましょうと、伝えました。

ところで、クリスマス会に向けて、年長組はどうしたら練習時間の確保と保育参観を両立できるか悩んできました。何年か前から、保育室や遊戯室に分かれて場面ごとに聖劇を創り上げる様子を見ていただくようになりました。保護者の皆さんには好評でしたが、午前中練習して、午後また練習を見ていただくなると子どもの気力・体力が持たないという問題がありました。思い切って今年は、ジュビリホールで、場面ごとと通しの練習を見ていただきました。すると、どうでしょう。適度な距離感と緊張感で子どもたちの演技に冴えが出るではありませんか。普段見ることができない正に生の練習風景を見られた保護者の皆さんも大満足していただいたことと思います。

行事を行うのに当たり、どんな思いを込めるかは、何より大切だと思います。でも、伝わってこそ思います。思いを伝えるのには、それなりの技能・技術が必要です。思いを大切にしながら、表現力を上げる。クリスマス会は、そんな子どもたちにとって登竜門かも知れません。どの子も「やってみたい」「表現したい」という思いを持って、実際に表現できるように、保護者の皆様には当日大きな拍手をお願いします。そして、セレブレーション、サンタさんからのプレゼントまで、記念式典・観劇会のように、会場全体の皆様が同じ思いを持って会に臨めますよう宜しくお願いします。